

育て！将来の地域農業の担い手

- 彦根市は、都市部と農村部が近く、身近なところで農業体験が行える特徴を活かし、将来の農業の担い手となり得る子どもや若者世代が、農業に関心を持つきっかけとすることを目的として、小学生から高校生までを対象に、種まきから収穫までの一連の農業体験を提供し、食生活が自然の恩恵の上で成り立っていることや、地元産の農作物の魅力进行传达了。
- 農業体験を通じて生産者と交流することで、農作業の苦勞、地域農業の現状等についての理解が深まった。また、体験内容は新聞報道により市民にも周知され、地元産農産物への関心が高まった。

滋賀県
彦根市

【取組の内容】

【農業体験の機会の提供】

- 体験作業は、地元農業組合と連携し、サツマイモ、ジャガイモ及びスイートコーンの定植・収穫、ポップコーンの定植・防除・収穫、大根の播種・収穫、サトイモの収穫を実施。
- 大根の播種、収穫等においては、小学生と高校生が合同の体験作業を実施。
- 実施概要
 - ・開催期間等:平成30年5月～12月(計12回、各回2時間程度)
 - ・開催場所:彦根市松原町ほ場
 - ・対象者:小学生、中学生、高校生
 - ・参加者数:延べ1,020人



大根の播種体験



大根の収穫体験

【取組の成果】

- 農業体験を通じて生産者と交流することで、農作業の苦勞や工夫などを直接知ることができ、地域農業の現状について理解を深めることができた。また、生産者や農産物への感謝の気持ちを育む機会となった。
- 農業体験が新聞報道されたことにより、広く一般市民へ取組内容が周知され、地元野菜への関心を高めることができた。
- 小学生と高校生による農業合同体験では、小学生の元気さ積極性と、高校生の正確さサポート力が発揮され、地域農業への理解増進と協働作業の輪が形成され、地域の一体感が生まれた。
- 参加者は、実施日によっては、悪天候によるほ場状態が悪い中での作業や炎天下での作業を経験し、農業は自然環境に大きく左右されることと、その大変さを身をもって感じていた。
- 事業実施後のアンケート結果では、食品を購入する際に「国産や地域の食品を選ぶ」と回答した者の割合が8割以上となり、地元野菜への関心が高まった。

➤ 農林漁業体験の参加者数

目標:延べ900人 → 実績:延べ1,020人 (対前年比24%増)